

平成 26 年 12 月 日

岩見沢市長 松 野 哲 様

岩見沢市子ども・子育て会議
会長 平 野 直 己

岩見沢市子ども・子育て支援事業計画について（答申）

平成 25 年 11 月 11 日付岩教子第 480 号で諮問のあったことについて、
つぎのとおり答申します。

- 1 岩見沢市子ども・子育て支援事業計画答申書（別紙のとおり）
- 2 岩見沢市子ども・子育てプラン骨子（別紙のとおり）

案

岩見沢市子ども・子育て支援事業計画答申書

子ども・子育てについては、社会全体で取り組むべきものであることから、岩見沢市子ども・子育て支援事業計画については、次世代育成支援法に基づく次世代育成支援行動計画と一体的に整備し、その名称を「岩見沢市子ども・子育てプラン」として、以下の内容について反映されたい。

1 基本理念について

子どもと子育てを応援することを通じて、さまざまな年代、さまざまな立場の人が満足感を得ることができるよう、「ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪」を基本理念として、計画の構成や内容に反映させること。

2 基本的な考え方について

子どもの成長と発達に応じて、必要な支援を受けることができるよう、子どもと子育てについて、「支える人」と「支えられる人」というように固定的に捉えるのではなく、その時々によって立場を変えて、支えたり支えられたりする経験が一人ひとりの成長と満足につながるという視点を構成や内容に反映させること。

3 3つの視点と事業の優先順位について

基本理念を実現するための具体的な方策に関する考え方を「安全」「安心」「笑顔」の3つの視点から整理し、具体的な事業の実施については、優先順位を明らかにして取り組むこと。

中でも「安全」は、子どもと子育て支援の基礎となる、命と健康を守るセーフティネットであることから、最優先に取り組むこと。

4 年次的取り組みについて

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）、子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）等、計画初年度において必要量の見込みに応じた確保策を講じることのできない事業については、民間事業者等との連携にも努め、計画期間内に必要量を確保すること。